

令和5年度上半期

村山市水道事業業務状況説明書

令和5年4月 1日 から

令和5年9月30日 まで

山形県村山市

目 次

1. 事業の概要	3
2. 経理の状況	4
3. 令和4年度の決算の状況	6

1. 事業の概要

(1) 工事の施工状況

①安定供給のために、東笛田・俵町・中町・中央・岩野地区の老朽管更新工事や楯岡高区配水場の電気計装設備更新工事を行っています。

②定住促進のために、次世代まちづくり開発促進事業（民間宅地開発への補助事業）に伴って、鶴ヶ町・北楯・二日町・南新町地区において配水管の新設工事を行っています。

③自然災害による断水に備えるため、幕井水源を利用した緊急時浄水施設の実施設計を行っています。

(2) 業務量

令和5年度上半期の給水普及状況は、給水戸数7,772戸、給水人口21,819人で、普及率は行政区域内人口の99.9%です。

また、令和5年度上半期における配水量は1,377,160^m³、有収水量は1,116,584^m³で、有収率は81.1%です。

(令和5年9月30日現在)

区 分	令和5年度 上半期	令和4年度 上半期	対前年度	
			増 減	増減率
1. 行政区域内人口(a)	21,845 人	22,338 人	△ 493 人	△ 2.2 %
2. 給水人口(b)	21,819 人	22,313 人	△ 494 人	△ 2.2 %
3. 給水戸数	7,772 戸	7,775 戸	△ 3 戸	0.0 %
4. 給水栓数	8,779 栓	8,794 栓	△ 15 栓	△ 0.2 %
5. 普及率(b/a)	99.9 %	99.9 %	0 %	—
6. 上半期配水量(c)	1,377,160 ^m ³	1,402,372 ^m ³	△ 25,212 ^m ³	△ 1.8 %
7. 1日平均配水量	7,525 ^m ³	7,663 ^m ³	△ 138 ^m ³	△ 1.8 %
8. 上半期有収水量(d)	1,116,584 ^m ³	1,143,336 ^m ³	△ 26,752 ^m ³	△ 2.3 %
9. 1日平均有収水量	6,102 ^m ³	6,248 ^m ³	△ 146 ^m ³	△ 2.3 %
10. 有収率 (d/c)	81.1 %	81.5 %	△ 0.4 %	—

2. 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出

収 入

(消費税込 単位：円)

区 分	予算現額	収入額		
		上半期	下半期	計
第1款 事業収益	633,023,000	293,552,275	-	293,552,275
第1項 営業収益	572,895,000	291,288,891	-	291,288,891
第2項 営業外収益	58,415,000	1,207,239	-	1,207,239
第3項 特別利益	1,713,000	1,056,145	-	1,056,145

支 出

(消費税込 単位：円)

区 分	予算現額	執行額		
		上半期	下半期	計
第1款 事業費用	629,232,000	138,611,677	-	138,611,677
第1項 営業費用	603,430,084	134,133,124	-	134,133,124
第2項 営業外費用	24,592,000	4,288,637	-	4,288,637
第3項 特別損失	209,916	189,916	-	189,916
第4項 予備費	1,000,000	0	-	0

(2) 資本的收入及び支出

収 入

(消費税込 単位：円)

区 分	予算現額	収入額		
		上半期	下半期	計
第1款 資本的收入	111,395,000	0	-	0
第1項 工事負担金	100,950,000	0	-	0
第2項 固定資産売却代金	20,000	0	-	0
第3項 他会計出資金	10,425,000	0	-	0

支 出

(消費税込 単位：円)

区 分	予算現額	執行額		
		上半期	下半期	計
第1款 資本の支出	404,871,000	56,348,023	-	56,348,023
第1項 建設改良費	326,047,000	17,145,988	-	17,145,988
第2項 企業債償還金	78,824,000	39,202,035	-	39,202,035

3. 令和4年度の決算の状況

(1) 総括事項

市民の快適な生活を支える安全な水を安定供給するために、老朽化した配水管の更新工事、県河川整備事業に伴う配水管の移設工事を実施しました。また、S*mileタウンはやまの宅地造成や国道347号沿線の民間開発に伴って配水管の新設工事を実施しました。

(イ) 工事施行状況

建設改良費の総額は188,963,795円で、うち配水設備改良費が188,863,450円です。

安定供給のために、楯岡笛田・稲下・大久保・富並地区の配水管更新工事、河島地区の調節池整備に伴う配水管移設工事を行いました。

また、定住促進のために、S*mileタウンはやまの宅地造成や国道347号沿線（大久保新宿地区）の民間開発に伴って配水管新設工事を行いました。

(ロ) 業務状況

令和4年度末の給水普及状況は、給水戸数7,719戸、給水人口22,063人で、普及率は行政区域内人口の99.9%です。

また、年間配水量は2,770,220 m³、年間有収水量は2,218,503 m³で、有収率は80.1%です。

(ハ) 経営状況

予算の執行にあたっては、効率的な経営をめざし費用の節減に努力しましたが、送水管の大規模な漏水等が発生し修繕費が増加しました。また、収益の面では、給水人口の減少により給水収益が減少しました。

その結果、収益的収支は、総収益598,135,915円、総費用587,782,141円で当年度純利益が10,353,774円となりました。

一方、資本的収支は、収入総額90,917,281円、支出総額274,070,817円となり、差183,153,536円の収入不足が生じました。この不足額を過年度分損益勘定留保資金174,876,743円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額8,276,793円で補てんしました。

(2) 経営指標に関する事項

令和4年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、給水人口の減少に伴う給水収益の減少等により前年度比0.8ポイント減の101.3%となりましたが、健全経営の水準とされる100%を上回っています。